

平成28年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ストゥントレン州農協センター建設計画」 完成式典開催

平成29年5月25日（木）、平成28年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（供与限度額83,000米ドル）により建設された農協センターの完成式典が、ストゥントレン州タラ・バリバツ郡プレア・ロムケル地区で開催されました。右式典には、ストゥントレン州からモム・サルーン知事、日本国大使館から藤本書記官が出席して祝辞を述べるとともに、農協の関係者、地域住民等約200人が参列しました。



本案件はストゥントレン州の3農協において、農作物や資機材の保管等に用いる農協センターを建設し、トラクターや米の乾燥機、脱穀機、キャッサバチッパー等の農業機材を供与することにより農業生産性と農産物の品質を向上させることを目的とするものです。2016年12月に贈与契約が結ばれ、この度完成式典の運びとなりました。

式典ではプレア・ロムケル農協による活動報告、州農林水産局長による事業報告等について藤本書記官がスピーチを行い「近年、カンボジア米の輸出は増加しており、その品質も評価されている。野菜生産においても可能性がある。今回の支援が高品質な農産物の増産に寄与し、農産物が高く売れ、生産コストが下がることで農家の収入が向上し生活が豊かになること、また高品質な国産農産物をより多くの消費者が楽しめるようになることを期待する。この農協センターがカンボジアと日本の友好関係のシンボルとして長きにわたって適切に維持管理され、有効に活用されることを願う。」と述べました。

続いてモム・サルーン知事が日本国政府への感謝の意を伝えるとともに「農協は食の安全保障や農産物の生産促進のために設立された。今後、持続可能な発展性を持つ独立した、能力のある農協にしていかなければならない。」と述べました。その後、農協センターの見学を行い、式典は終了しました。



来賓によるテープカット



会場の様子



スピーチを行う藤本二等書記官



スピーチを行うモム・サルーン知事



供与されたハンドトラクターと脱穀機（奥側）



供与されたハンドトラクターの前で話すモム・サルーン知事、藤本二等書記官、州農林水産局長



供与された米乾燥炉



式典が行われたブレア・ロムケル農協